

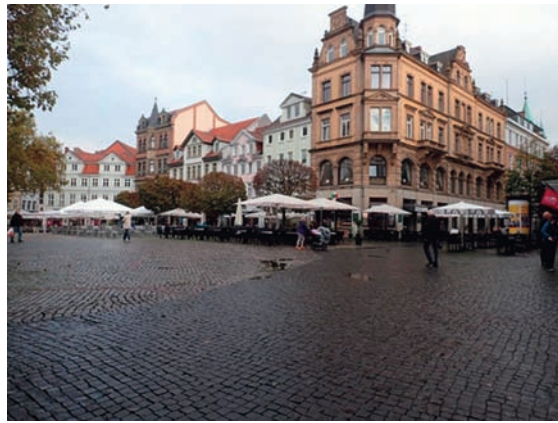
初の国際会議を通じて

工学府電気電子工学専攻M2 伊勢田 哲平



はじめに

2014年10月13日～16日にドイツのブラウンシュヴァイクで開催された国際会議 (HWCVD-8 Conference 2014) に参加しました。ブラウンシュヴァイクは福岡空港からアムステルダム経由でハノーファー空港まで飛行機で12時間、さらにそこから電車で1時間のところにあります。人口25万人と大都市ではありませんが、街の中央にあるライオンの像が印象的な、石畳にテラス席が似合うヨーロッパの歴史が感じられる街でした。



ブラウンシュヴァイクの街並み

発表について

今回参加した国際会議では、金型へのコーティングを想定し、SiCN膜に熱処理を施し密着性を評価するという内容で発表を行いました。発表は3分間のショートプレゼンテーションとポスター発表という形式でした。ショートプレゼンテーションは上手く発表できたものの、ポス

ター発表では質問者の問いに英語で応えることに苦労しました。特に、日本語でも説明が複雑な装置の説明をする際に、自然に日本語が混ざってしまいましたが、質問者を困らせてしまいました。しかし、どの方も私の拙い英語にもしつかり応えようとしてくださり終始助けていただきました。

また、本会議初日終了後には普段は入ることのできない、旧市役所で食事が開かれるなど、様々な企画が催されていました。旧市役所ではブラウンシュヴァイクを都市へと発展させたハインリヒ獅子公に扮した方が街の歴史を説明してくださり、さらに地元のビールやソーセージなどをいただくことができました。

国際会議に参加して、日本や海外で自分と同じ分野の研究をしている方々と交流を持てたことで、新たな知識や研究に対してのモチベーションを得ることができ、とても貴重で有意義な経験となりました。

まとめ

初の国際会議参加ということで、日本で過ごす4日間では到底経験で



会場の様子

きない充実した日々を過ごすことができました。自身の英語力不足を痛感し、英語学習の重要性を改めて感じました。今後は今まで以上英語学習に取り組みたいと思います。

国際会議参加にあたり、論文執筆およびポスター作成にご指導いただいた和泉亮教授、並びに奨学金という形で会議参加へ後押しいただいた明専会に厚くお礼申し上げます。

(平成26年11月記)